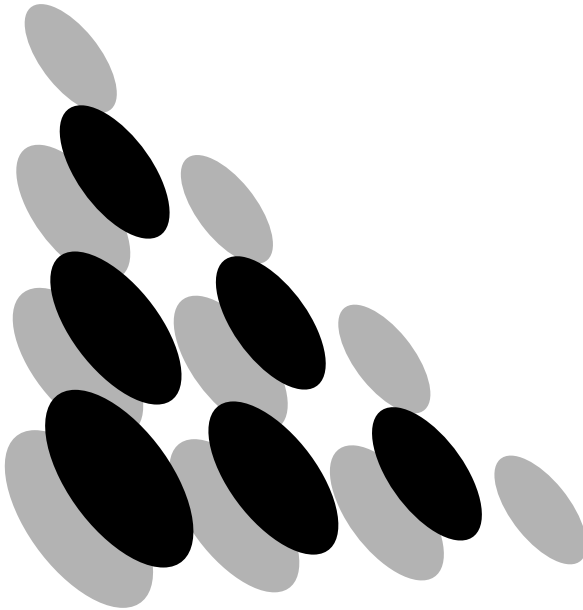


# PRIMERGY

V/Xカード(PG-1631)

取扱説明書



# はじめに

このたびは、弊社の通信カード V/X (PG-1631) をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

2002 年 6 月

## 梱包物を確認して下さい

お使いになる前に、次のものが梱包されていることをお確かめください。

万一足りないものがございましたら、おそれいりますが、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社保守サービスまでお申し付けください。

- 通信カード V/X (1 枚)
- 保証書
- 取扱説明書 (本書)

本製品を使用するためには、別売りのソフトウェアおよび適合するモデムが必要です。

### 本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、きわめて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。




# 本書の読みかた

## ■警告表示について

下の表示は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

 警告	 注意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

また、危害や損害の内容がどのような種類のものかを区別するために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

記号の例とその意味	
<p>感電</p> 	△で示した記号は、警告・注意を促す事項があることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左の例の場合は感電注意）が示されています。
<p>分解</p> 	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容（左の場合は分解禁止）が示されています。
<p>プラグ</p> 	●で示した記号は、必ず従っていただき内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左の例の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が示されています。

# 安全上のご注意

「必ず守って下さい」

- あなたや製品の周辺に影響を与える可能性が有ります -

使用状況に応じて、該当する項目の内容をよくお読みになり、製品を正しくお使い下さい。

## ●装置の取扱について

### ⚠警告



- ・梱包に使用しているビニール袋はお子様がお口にいたりかぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。  
窒息の原因となります。
- ・本カードを勝手に改造しないでください。感電・火災の原因となります。



### ⚠注意



- ・装置は精密に作られていますので、高温・低温・多湿・直射日光など極端な条件での使用・保管はさけてください。またカードを傷つけたり、強いショックを与えないでください。火災・故障の原因となる場合があります。
- ・ご使用にならない場合は、静電気防止のため付属のカード袋へ入れて保管してください。



## ●設置および機器接続時

### ⚠警告



- ・近くで雷が起きた時は、本カードの外部接続ケーブルを抜いて下さい。そのまま使用すると雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。  
また、安全のためサーバ本体のアースをとることをお勧めします。アースの取り方については、パソコン本体の取扱説明書の組立方法やセットアップの項を参照してください。  
（「雷からの機器の保護」「雷による機器の故障や破損を防ぐために」を参照してください）



- ・取り外したカバー、キャップ、ネジ等は、小さなお子様が誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところにおいてください。  
万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

## △注意



- ・ ケーブルを誤った接続状態で使用すると機器本体および周辺機器が故障する原因になることがあります。
- ・ 本カードに接続するケーブルは屋内用です。屋外にまたがる配線での使用、保管は行わないでください。火災、故障の原因となることがあります。

## 雷からの機器の保護

自然現象のひとつである雷は、放電や落雷の発生時に巨大な電気的エネルギー（雷サージ）を発生します。雷サージには、放電や落雷の発生時に雷雲の電荷が急激に変化し、付近の電源線や通信回線に電気的な変化が誘導される誘導雷サージと、建物や機器および電線などに直接落雷した時に発生する直撃雷サージがあります。

雷サージの種類	発生頻度	一般的なサージの大きさ等
誘導雷サージ	雷多発地域では、しばしば発生する	・ サージエネルギー数キロアンペア以下
直撃雷サージ	まれに発生する	・ 避雷器や機器の耐量を遥かに超えるエネルギー（数百キロアンペア以下） ・ 電線や機器に、直接落雷したら機器を完全に保護することは困難

このような誘導雷サージや直撃雷サージは、電源線や通信回線などの電線を通じて、パソコンなどの OA 機器や家庭の電化製品に侵入すると、故障や破損を生じることがあります。

雷の発生で誘導されたサージから、パソコンなどの OA 機器を保護するために、お客様に次のようなことをお願いします。

## 雷による機器の故障や破損を防ぐために



1. 直接雷サージから機器を保護する。  
機器に接続されている電線を外し、雷サージの侵入経路を絶つことによって、保護できます。  
近くで雷が起きた時は、電源コードやモジュラーコードをコンセントから抜いてください。入れたままにしておきますと、機器を破壊し、お客様の財産に損害をおよぼす可能性があります。
2. 誘導雷サージから機器を保護する。  
お客様が、サーバの近くにいないため、雷の発生時に未然に電線を抜くこと

ができないことが考えられます。このような場合は、他社から発売されている避雷器の設置を推奨します。

なお、避雷器では、非常に大きな誘導雷サージや直撃雷サージの場合、機器を保護できないことがありますので、ご了承ください。

# 本文中の表記について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	注意していただきたいことを記述しています。
 ポイント	ハードウェアやソフトウェアを正しく動作させるために必要なことが書いてあります。

# 目次

1	概要	1
1.1	概要	1
1.2	特徴	1
1.3	システム構成図	1
1.4	仕様	2
2	設置方法	3
2.1	スイッチの設定	4
2.2	取り付け手順	5
3	外部インターフェースコネクタ	7
3.1	物理的条件	7
3.2	信号線の定義	7
4	困ったときは	9



# 1 概要

## 1.1 機能

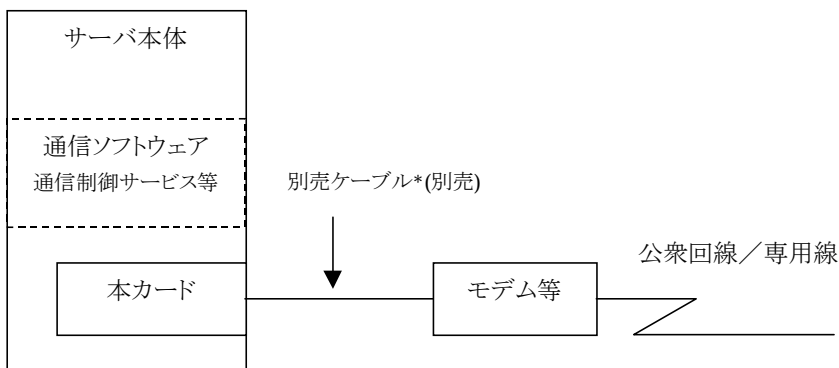
本カードは、PCI バス搭載のサーバ用マルチプロトコル通信カードです。  
本カードは、専用の 16 ビット CPU を搭載し、サーバ本体から通信プロトコルをロードして実行することにより、各種の通信プロトコルを効率よく処理することができます。

## 1.2 特長

本カードは以下のような特長をもっています。

- ・サーバ本体とのインタフェースに PCI バスを使用しています。
- ・専用 CPU で複雑な通信プロトコルの大部分を処理するので、サーバ本体の負荷が軽減されます。
- ・ITU-T V.24/V.28 および X.21/V.11 に準拠したインタフェースをもっています。

## 1.3 システム構成図



*接続ケーブル	RS-232C ケーブル(V.24)	FMV-CBL604(1.5m)
		FMV-CBL607(15m)
	DSU ケーブル(X.21)	FMV-CBL841(1.5m)
		FMV-CBL842(15m)

## 1.4 仕様

ホストバスインタフェース	PCI ローカルバス Rev.2.1	
外部インタフェース(注 1)	ITU-T V.24/V.28	ITU-T X.21/V.11
通信速度	75~19.2Kbps	75~64Kbps
回線種類	専用回線・公衆回線	
伝送制御手順	ASYNC・SYNC・HDLC	
動作電源電圧	+3.3V 又は +5.0V (自動切換え)	
消費電流	最大 1.6A	
使用 I/O アドレス(注 2)	I/O 空間 1 : XX00h ~ XXFFh(256Byte) I/O 空間 2 : YY00h ~ YYFFh(256Byte) XX,YY : 可変部	
使用割り込み数(注 2)	1 本	
外形寸法 (ブラケット除く)	約 120mm(W) × 102mm(D)	

(注 1)外部インタフェースは、V.24 と X.21 をソフトウェア切り替えによってどちらか一方が有効となります。(同時に使用することはできません。)

(注 2)サーバの BIOS またはオペレーティングシステム(OS)によって割り当てられません。

### ポイント

- ・ 通信速度・プロトコルなどにつきましては、使用するソフトウェア(別売)により制約があります。  
詳しくは、ソフトウェアの説明書をご覧ください。

## 2 設置方法

本カードをサーバ本体に取り付ける前に、サーバ本体に添付の取扱説明書と工具をご用意してください。

### 警告



- ・本カードの取り付けおよび取り外しを行う場合は、必ずパソコン本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。  
感電の原因となります。

### 注意



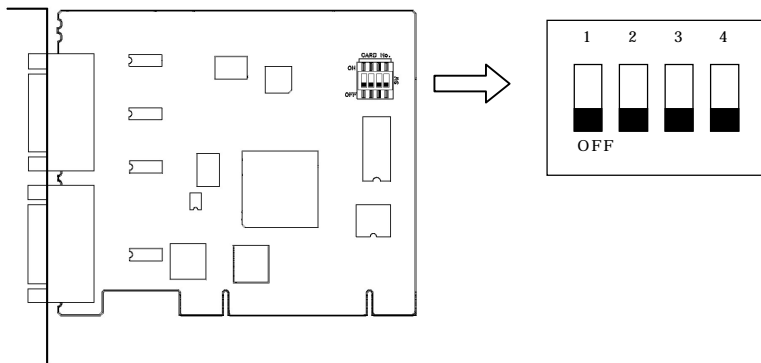
- ・本カードの取り付け取り外しを行う場合は、指定された場所以外のネジは外さないでください  
指定された場所以外のネジを外すと、けがをする恐れがあります。また、故障の原因になることがあります。

### ポイント

- ・ご使用になるサーバ本体およびソフトウェアの説明書も合わせてお読みください。

## 2.1 スイッチの設定

本カードを取り付ける前に、下図に示すカードのスイッチを設定します。



### SW(カード番号)の設定

カード番号	1	2	3	4
0	OFF	OFF	OFF	OFF
1	OFF	OFF	OFF	ON
2	OFF	OFF	ON	OFF
3	OFF	OFF	ON	ON
4	OFF	ON	OFF	OFF
5	OFF	ON	OFF	ON
6	OFF	ON	ON	OFF
7	OFF	ON	ON	ON
8	ON	OFF	OFF	OFF
9	ON	OFF	OFF	ON
10	ON	OFF	ON	OFF
11	ON	OFF	ON	ON
12	ON	ON	OFF	OFF
13	ON	ON	OFF	ON
14	ON	ON	ON	OFF
15	ON	ON	ON	ON

(■は工場出荷時の設定)

### ポイント

- ・ 1 台のサーバ本体に本カードを複数枚取り付ける場合は、カード番号が重複しないように設定してください。

## 2.2 取り付け手順

本カードをサーバ本体に取り付ける前にあらかじめ OS をインストールしておくことをお勧めします。

### ① カード番号の設定・確認

カード番号は 1 台のサーバ本体に本カードを複数枚取り付ける時、ソフトウェアにてカードの識別を行うために必要です。同じカード番号が無いように設定・確認をしてください。

『2.1 スイッチの設定』を参照してカード番号を決定してください。

### ポイント

- ・カード番号とカードを取り付けるスロット位置を、あらかじめメモしておく、ケーブル接続・ソフトウェアのインストール時に、カード・ケーブル・ソフトウェアの組合せミスを防げます。

### ② サーバ本体への取り付け

サーバ本体の取扱説明書にある、カードの取り付け方法を参照して、本カードを PCI スロットに取り付けてください。

### ③ ケーブルの接続

ケーブル（別売）を接続します。

この時ケーブルの抜け防止のためにネジをしっかり締めてください。

### 警告



- ・近くで雷が起きた時は、本カードの外部接続ケーブルを抜いてください。そのまま使用すると雷によっては機器を破壊し火災の原因となります。
- ・また、安全のためサーバ本体のアースをとることをお勧めします。アースの取り方については、サーバ本体の取扱説明書の組立方法やセットアップの項を参照してください。

### 注意



- ・ケーブルの接続は誤った接続状態で使用すると、機器本体および周辺機器が故障する原因になることがあります。

### ④ サーバへのソフトウェアのインストール

ご使用になるソフトウェアの説明書にしたがって、ソフトウェアをインストールします。

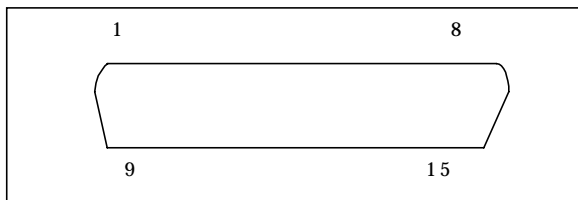
## ポイント

- 本カードをサーバに取り付け、OS をインストールした場合、カードが正常に設定されないことがあります。その場合は、OS に登録された本カードの情報を一度削除してから再度サーバを起動します。カード情報の削除方法は、OS のマニュアルや OS のヘルプ機能で確認してください。
- 本カードをサーバ本体に取り付けることにより、他のオプションカード等のリソースが変更されるか、重複してしまいアプリケーションソフト等が正常に動作しなくなった場合は、本カードを一度取り外してから、OS のハードウェア設定を行うユーティリティー等を使用して、ほかのカードのリソースを元の値に固定してから再び本カードを取り付けてください。

# 3 外部インタフェースコネクタ

## 3.1 物理的条件

V.24 および X.21 インタフェースコネクタは、D-SUB 15P を使用しています。コネクタを結合側から見た場合のピン配置は、以下の通りです。



通信カード V/X(FMV-1671)の取説  
B1FY-4731-01(8 頁)の図を流用

## 3.2 信号線の定義

### ①V.24 インタフェース

接続回線名称	略称	信号の方向	ピン番号
保安用アース	FG(GND)	—	1
送信データ	SD(TxD)	出力	2
送信要求	RS(RTS)	出力	3
受信データ	RD(RxD)	入力	4
送信可	CS(CTS)	入力	5
センドタイミング 1	ST1	出力	6
キャリアデテクト	CD	入力	7
通信用アース	SG(GND)	—	8
データセットレディ	DR(DSR)	入力	10
コーリングインディケート	CI	入力	11
データターミナルレディ	ER(DTR)	出力	12
セントタイミング 2	ST2	入力	13
レシーブタイミング	RT	入力	14

## ②X.21 インタフェース

各ピンの信号線の対応は以下の通りです。

接続回線名称		略称	信号の方向	ピン番号
信号用設置線		SG(GND)	—	8
送信データ	A	TA	出力	2
	B	TB		9
受信データ	A	RA	入力	4
	B	RB		11
制御線	A	CA	出力	3
	B	CB		10
表示	A	IA	入力	5
	B	IB		12
信号エレメント タイミング	A	SA	入力	6
	B	SB		13
送信エレメント タイミング(注)	A	ST1A	出力	7
	B	ST1B		14

(注)試験用に用意したものであり、通常は使用しません。

### ポイント

表中にないピン番号は、すべてN.C(未接続)です。信号の方向は、カードから見た方向です。



## 4 困ったときは

本製品のご使用に際し何か困ったことが起きた場合は、以下の内容をお調べください。

- 本カードがサーバに認識されない
  - 原因：本カードが **PCI** スロットに確実に差し込まれていない。
  - 対処：本カードを **PCI** スロットにしっかり差し込んでください。
  
- デバイスマネージャの画面で本カードに「！」マークや「×」マークがついている。
  - 原因：スイッチの設定が間違っている。
  - 対処：ソフトウェア(別売)の設定とカード上のスイッチの設定を合わせてサーバを再起動してください。
  
  - 原因：ソフトウェア(別売)のインストールに失敗している。
  - 対処：本カードが **PCI** スロットに確実に差し込まれていることを確認し、ソフトウェアを削除後、再度ソフトウェアのインストールを行ってください。
  
- ネットワークに接続できない
  - 原因：**RS-232C** ケーブル又は **D S U** ケーブル(**X.21**)が外れている。
  - 対処：外れているケーブルをしっかりと差し込みネジ止めしてください。
  
  - 原因：ケーブルの接続が間違っている。
  - 対処：ご使用になるインタフェース(**V.24** 又は **X.21**)にケーブルを接続してください。
  
  - 原因：電話番号が間違っている。
  - 対処：正しい電話番号を設定してください。

---

PRIMERGY

V/Xカード(PG-1631)

取扱説明書

B7FY-0391-01-00

発行日 2002年6月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

---

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本はお取り替えます。



このマニュアルは再生紙を使用しています。